

つなぐ

Vol.77
2025.12月

「高血圧管理・治療ガイドライン2025（JSH2025）」が約6年ぶりに改定された。当ガイドラインでは、降圧目標が診察室血圧130/80mmHg未満、家庭血圧125/75mmHg未満へと厳格化され、「治療」だけでなく「管理を継続する医療」が重視される方針が示された。高血圧は脳卒中・心疾患・腎障害・認知症など多くの疾患の発症要因となる。日本では1年間に17万人が高血圧を起因とする脳心血管病で死亡しており、残念ながら日本の血圧コントロール状況は主要経済国の中で最下位レベルと言われている。

急性期病院は、高血圧に起因する疾患を発症した患者の治療と再発リスク評価を担う一方、再発や重篤な合併症を防ぐ鍵となるのは退院後の継続的な血圧管理である。そのため、地域の医療機関による家庭血圧評価・生活指導・服薬調整支援が引き続き重要となる。

発症後ではなく、次の発症を防ぐ医療“へ——急性期病院と地域の医療機関がつながり、高血圧管理を支える体制強化こそ、これからの医療連携の鍵となる。





第87回

小倉循環器内科セミナー

2025年 12月18日(木) 18:00~18:30開催



弁膜症 カテーテル治療の 最新事情

～ガイドラインから近未来の予想まで～

座 長

小倉記念病院 副病院長 安藤 献児

講 師

小倉記念病院 循環器内科副部長 石津賢一

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民
公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会
→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

